

製造業業務プロセス研修

～製造業の全体像をイメージする人材を育成～

1回目 : 2/15 (水) ~16 (木)

2回目 : 6/14 (水) ~15 (木)

3回目 : 10/18 (水) ~19 (木)

ワクコンサルティング株式会社

<https://waku-con.com/>

目的と概要

若手社員の業務知識習得と実力養成、中堅社員の業務知識整理として

製造業のサプライチェーン（計画、調達、生産、販売）やBOMなどの基準情報に関する業務の基礎を学ぶことにより、

製造業のお客様は

- ①生産管理や製造部門が抱える問題や課題を正しく理解し
- ②改善活動（QCDの向上）に繋げられる若手人材の育成を目的としています。

IT企業・コンサルティング企業のお客様は

- ①お客様が業界用語を交えて説明される話が理解でき、円滑なコミュニケーションがはかれる
- ②お客様の要求を的確に把握できるようになる
- ③従って業務要件の確定が早く正確になりERP/PDM導入やSCM/PLM構築の上流工程の手戻りを無くすことを目的としています。

特徴

- 講師が現役コンサルタントのため、事例を元にした**実践的な講義**を主体としております。
- 当研修で製造業業務の**鳥瞰図を理解した人材**が育ちます。
- 一方的な講義だけでなく、**演習を随所に入れ、受講生が理解し、体得し易く**しています。

受講対象者



- IT企業・コンサルティング企業のお客様：製造業を顧客とする経営コンサルティング会社、情報システム関連会社（コンピューターメーカー、システムインテグレーター、ERP / SCP / CRMソフトベンダー）の若手・中堅のソリューション営業・SE・コンサルタント
- 製造業の若手社員、情報システム部門のSE

受講者の 声

- ・製造業の業務プロセスを体系的に、事例をまじえながら学ぶことができ、非常にためになりました。
- ・外部コンサルの方による生産管理業務概要を聞くことにより、新しい視点での管理方法等を学ぶことが出来、非常に勉強なった。
- ・製造業の業務内容、課題、解決のアプローチについての基本的な事が理解できた。
- ・始めに全体感を学び、その後各プロセスについて詳細に学ぶことができたため、常に各プロセスとのつながりを意識しながら知識を整理することができました。
- ・システム導入する私達の立場でも、業務を網羅的に知れる機会はないので、いい機会になった。学んだことを生かせる案件につきたいと思った。
- ・M-BOMとE-BOMの各特徴が演習を通じて理解できたと感じています。

製造業業務プロセス研修（オンライン2日コース）



日程	講義内容		タイムスケジュール	各想定時間
1日目	オープニング	新堀	09:30~09:40	10分
	1章. 製造業業務プロセス概要		09:40~10:40	1時間
	2章. 基準情報管理 (含: グループ討議)		10:50~12:00	1時間10分
	(昼休)		12:00~13:00	1時間
	2章. 基準情報管理 (午前続き)		13:00~13:30	30分
	3章. 生販在計画		13:40~14:40	1時間
	4章. MRPと製番管理		14:50~16:20	1時間30分
	5章. 購買管理 Q&A (1~4章)		16:30~17:10 17:20~17:30	40分 10分
2日目	5章. 購買管理 (続き)	新堀	09:30~10:30	1時間
	6章. 在庫管理		10:40~12:00	1時間20分
	(昼休)		12:00~13:00	1時間
	6章. 在庫管理 (午前中の続き)		13:00~13:20	20分
	7章. 工程管理 (含: 動画資料参照)		13:30~15:10	1時間40分
	8章. 原価管理		15:20~17:00	1時間40分
	Q&A (5~8章)		17:10~17:25	15分
	クロージング		17:25~17:30	5分

製造業業務プロセス2日間コース 目次



1章. 製造業業務プロセス概要

- 1 - 1. 産業分類と製造業の特徴
- 1 - 2. 製造業の基本問題
- 1 - 3. 生産の大まかな手順
- 1 - 4. 製造業における組織
- 1 - 5. 生産管理とは
- 1 - 6. いろいろな生産形態
- 1 - 7. 製造業務のための機能
- 1 - 8. 生産管理ビジネスプロセス
まとめ

2章. 基準情報管理 (含: 演習)

- 2 - 1. 基準情報とは
- 2 - 2. 部品表 (BOM)
- 2 - 3. 品目マスター
- 2 - 4. 工程表 (工順マスター) と設備台帳
- 2 - 5. その他の基準情報
まとめ

3章. 需要予測と生販在計画

- 3 - 1. 需要予測と生販在計画の位置付け
- 3 - 2. 需要予測と生販在計画の機能
- 3 - 3. 需要予測
- 3 - 4. 販売計画
- 3 - 5. 生販在計画 (PSI計画)
- 3 - 6. 生産計画
- 3 - 7. 基準生産計画 (MPS)
まとめ

4章. MRPと製番管理

- 4 - 1. MRPの位置付け
- 4 - 2. MRPとは?
- 4 - 3. MRPを利用する業務領域
- 4 - 4. MRPの主要項目
- 4 - 5. MRPの計算過程
- 4 - 6. MRPからのアウトプット確認
- 4 - 7. MRPと製番管理
まとめ

製造業業務プロセス2日間コース 目次



5章. 購買管理

- 5-1. 購買管理の位置付け
 - 5-2. 購買管理の役割
 - 5-3. 購買管理の機能
 - 5-4. 購買活動
 - 5-5. 外注について
 - 5-6. 購買活動を支える仕組み
 - 5-7. 購買部門の組織と課題
- まとめ

6章. 在庫管理

- 6-1. 在庫管理の位置付け
 - 6-2. 在庫管理とは
 - 6-3. 在庫管理の機能
 - 6-4. 在庫精度向上活動
 - 6-5. 在庫目標の設定と削減活動
- まとめ

7章. 工程管理 (含: 演習)

- 7-1. 工程管理の位置付け
 - 7-2. 工程管理の目的
 - 7-3. 工程管理の機能
 - 7-4. 工程管理の体系と改善の着眼点
 - 7-5. 製造指示
 - 7-6. 製造進捗管理
 - 7-7. カンバン方式
- まとめ

8章. 原価管理

- 8-1. 原価管理の位置付け
 - 8-2. 製造原価の基本
 - 8-3. 原価管理
 - 8-4. 原価計算
 - 8-5. 原価計算の種類
 - 8-6. 原価差異分析
 - 8-7. 原価低減活動
 - 8-8. 製造原価の応用例
- まとめ



新堀 克美 (にいほり かつみ)

ワクコンサルティング（株） 常務執行役員 エグゼクティブコンサルタント
株式会社インダストリアル ソリューション アドバイズ アンド コンサルティング
代表

東京都立大学 理工学部数学科卒業、日本アイ・ビー・エム（株）にて、工場情報システム部門において適用業務開発保守、ネットワーク・サーバー運用管理および情報システム企画を歴任、その後外販部隊において営業支援並びにSIのPMを行う。1996年よりHDD開発製造部門のCIOとしてAP-Northを統括する。2003年HDD部門の日立製作所への売却に伴いIBMを退社、両者のシステム統合をコンサルタントとして支援。2002年より東京電機大学理工学部において情報システム設計及びデータ通信ネットワークの講義を受け持ち講師として活動中。

著書に「イラスト図解 工場のしくみ」（共著）（日本実業出版社）、「図解よくわかるBOM」(共著)(工業調査会)、「強い工場のしくみ」（編著）（PHPビジネス新書）などがある。

専門分野： 生産管理、ERP、SCP導入企画、導入支援、工程管理、・自動化工程管理、技術情報管理、工程変更管理支援、サプライ・チェーン・マネージメント、グローバル・オペレーション支援